

注3

高専番号：国38

[平成26年度設置]

計画の区分：学科の設置

注1

事前伺い

阿南工業高等専門学校

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

独立行政法人 国立高等専門学校機構
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課総務広報係

職名・氏名 ^{ハマダ}濱田 ゆうこ

電話番号 0884-23-7104

（夜間） 0884-23-7104

F A X 0884-22-5424

e-mail soumukoho@anan-nct.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

<創造技術工学科>	ページ
1. 調査対象高専の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設高専の状況	21
5. 教員組織の状況	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象高専の概要等

(1) 設置者

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(2) 高専名

阿南工業高等専門学校

(3) 高専の位置

〒774-0017

徳島県阿南市見能林町青木265

- (注) ・対象学部等の位置が高専本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コバタケ ヒデフミ) 小畑 秀文 (平成24年4月1日)	(タニグチ イサオ) 谷口 功 (平成28年4月1日)	退任のため(28)
校長	(テラザワ ケイジ) 寺沢 計二 (平成27年4月1日)		
学科長	(スギノ リュウザブロウ) 杉野 隆三郎 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学科の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学科等の名称等

調査対象学科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
創造技術工学科 準学士(工学)		5年	160人	— 年次人	800人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学科等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	160 (-) [-]	— (-) [-]	160 (-) [-]	— (-) [-]	160 (-) [-]	— (-) [-]	160 (-) [-]	— (-) [-]	1.00倍	
志願者数	() []	() []	308 (-) [-]	— (-) [-]	252 (-) [-]	— (-) [-]	240 (-) [-]	— (-) [-]	234 (-) [-]	— (-) [-]		
受験者数	() []	() []	303 (-) [-]	— (-) [-]	250 (-) [-]	— (-) [-]	236 (-) [-]	— (-) [-]	233 (-) [-]	— (-) [-]		
合格者数	() []	() []	160 (-) [-]	— (-) [-]	160 (-) [-]	— (-) [-]	160 (-) [-]	— (-) [-]	160 (-) [-]	— (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	160 (-) [-]	— (-) [-]	160 (-) [-]	— (-) [-]	160 (-) [-]	— (-) [-]	160 (-) [-]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A			1.00		1.00		1.00		1.00			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学科等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	160 [-] (-)	[-] (-)	160 [-] (-)	[-] (-)	160 [-] (-)	[-] (-)	161 [-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		160 [-] (-)	[-] (-)	159 [-] (-)	[-] (-)	158 [-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		158 [-] (-)	[-] (-)	166 [-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		157 [-] (-)	[-] (-)	
5年次	/		/		/		/		
計	160 [-] (-)	[-] (-)	320 [-] (-)	[-] (-)	477 [-] (-)	[-] (-)	642 [-] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学科等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	160 人	9 人	平成26年度	0 人	0 人		5.62 %
			平成27年度	2 人	0 人	進路変更(他の教育機関への入学・転学)	
			平成28年度	7 人	0 人	就職、進路変更(他の教育機関への入学)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	160 人	3 人	平成27年度	1 人	0 人	進路変更(他の教育機関への入学・転学)	1.87 %
			平成28年度	2 人	0 人	病気療養、進路変更(他の教育機関への転学)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	160 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	進路変更(他の教育機関への入学)	0.62 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	160 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	640 人	13 人					2.03 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創造技術工学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
	基礎数学 1	1通	4			1	1			1		教員負担平準化のため割当て 変更(28)
	数学 A	1通	2			1	2 1 2			1		教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員負担平準化のため割当て 変更(28) 教員負担平準化のため割当て 変更(29)
	基礎数学 2	2通	4			2 1	1			1		教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員負担平準化のため割当て 変更(28) 教員負担平準化のため割当て 変更(29)
	数学 B	2通	2			1	1 2 1 2			1 1		教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員負担平準化のため割当て 変更(28) 教員負担平準化のため割当て 変更(29)
	微分積分	3通	2			1	1 2			1		教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員負担平準化のため割当て 変更(28)
	数学 C	3通	2			1 1					兼1	教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員負担平準化のため割当て 変更(28)
	日本語総合	1通	2			1						
	日本語総合	2通	2			1						
	日本語総合	3前	1			2						
	英語 1	1通	2			1	1					教員負担平準化のため割当て 変更(29)
	英語 2	2通	2			1	1					教員負担平準化のため割当て 変更(29)
	英語 3	3通	4			1 2					兼2 兼1 兼2	教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員負担平準化のため割当て 変更(28) 教員負担平準化のため割当て 変更(29)
	英語総合 1	4後	2			1	1	1		1		教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員の配置換のため講師変更 (29)
	必修 科目 英語 A	1通	2				1		1	1		兼1 教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員負担平準化のため割当て 変更(28) 教員負担平準化のため割当て 変更(29)
	英語 B	2通	2				1 1		1			教員負担平準化のため割当て 変更(28) 教員の配置換のため講師変更 (29)
	英会話	2通	2								兼1	
	英作文	3通	2								兼1 兼2 兼1	教員負担平準化のため割当て 変更(28) 教員負担平準化のため割当て 変更(29)
	英語コミュニケーション基礎	1通	2				1					カリキュラム変更に伴う新設科 目(29)

一般 科目 目	一般 教 養	理科総合	1通	4		1	1 2	1	1	兼2	教員の配置換のため割当て変更 (27) 教員の配置換のため割当て変更 (28)		
		物理	2通	2		1	1	1	1	兼1	教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員の配置換のため割当て変更 (28)		
		物理	3通	2		1	1				兼1	教員負担平準化のため割当て 変更(28) 教員の配置換のため割当て変更 (29)	
		物理実験・演習	2前	1			1 2		1		兼1	教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員の配置換のため割当て変更 (28) 教員の配置換のため割当て変更 (29)	
		化学	2通	2			1		1		兼1	教員の配置換のため割当て変更 (27) 教員の配置換のため割当て変更 (28) 教員負担平準化のため割当て変 更(29)	
		倫理	1通	2		1					兼1		
		世界史	2通	2							兼1		
		日本史	3通	2							兼1		
		政治経済	2通	2			1 1				兼1	教員負担平準化のため割当て 変更(27) 教員負担平準化のため割当て変 更(29)	
		地理	3通	2							兼1		
		小計(28科目)		62									
		選 択 科 目	日本語の表現	5前		2		2					
			哲学	4通		2		1					
			法学	4通		2			1				
			保健	1前		1						兼1	
			体育	1通		2			1	1			
			体育	2通		2			1	1			
			体育	3通		2			1	1			
			体育	4後		1			1	1			
			体育	5前		1			1	1			
美術・デザイン	1通			2						兼1			
英語の語彙・文法(1)	4前		1			1		1		教員負担平準化のため割当て 変更(27) カリキュラム変更に伴い科目変 更(29)			
英語の語彙・文法(2)	4後		1		1	1			兼1	教員負担平準化のため割当て 変更(27) カリキュラム変更に伴い科目変 更(29)			
英語の語彙・文法	4通		2			2				カリキュラム変更に伴い科目変 更(29)			
英語総合2	5前		2		1	1				教員負担平準化のため割当て 変更(27)			
第二外国語入門	5後		1						兼1				
応用化学	4集		1			1		2		教員負担平準化のため割当て変 更(29)			
小計(14科目)			23										
一般科目合計(42科目)		62	23										

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考					
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手						
専 門 科 目	機 械 コ ー ス	必 修 科 目	情報リテラシー	1通	2			4					兼2 兼4	教員の配置換のため講師変更(27)		
			機械製図	2通	2		1				1			兼2 兼4	教員の配置換のため講師変更(28)	
			機械工作実習 1	2通	3		1	1	1		1			兼2 兼4	教員の配置換のため講師変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(29)	
			機械工作法 1	2通	2				1	1					兼2 兼4	教員負担平準化のため割当て変更(29)
			機械材料 1	2通 2後	2 1		1	1	1						兼2 兼4	科目間連携により配当年次と単位数 を変更(27) 教員の配置換のため講師変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(29)
			機械設計製図 1	3通	2		1					1			兼2 兼4	教員の配置換のため講師変更(28)
			機械工作実習 2	3通	3				1	1	1				兼2 兼4	教員の配置換のため講師変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(29)
			機械要素設計	3前 3後	1		1	1							兼2 兼4	科目間連携により配当年次を変更 (28) 教員の配置換のため講師変更(28)
			機構学	3前	1				1						兼2 兼4	
			機械力学 1	3後	1				1						兼2 兼4	
			材料力学 1	3通	2		1								兼2 兼4	
			機械工作法 2	3前 3後	1				1	1					兼2 兼4	教員負担平準化のため割当て変更(29)
			機械材料 2	3前 3通	1 2		1	1							兼1	科目間連携により配当年次と単位数 を変更(27) 教員の配置換のため講師変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(29)
			機械設計製図 2	4前	2			1		1	1				兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)
			機械設計製図 3	4後	2				1			1			兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)
			機械工学実験 1	4通	3			2	2	2					兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)
			機械力学 2	4前	2				1						兼1	
			材料力学 2	4前	2		1								兼1	
			材料力学 3	4後	2		1								兼1	
			水力学 1	4前	2				1						兼1	
			水力学 2	4後	2				1						兼1	
			熱力学 1	4前	2		1	1							兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)
			熱力学 2	4後	2		1								兼1	
			情報処理 1	4通	2				1						兼1	
			計測工学	4後	2				1	1					兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)
			校外実習	4通	1			1	1						兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)
			確率統計	4前	2										兼1	講師変更(29)
			工業力学力学	4前	2			1	1						兼1	内容を変えずに学生にとってわかり やすい名称に変更(27) 教員負担平準化のため割当て変更(29) 教員負担平準化のため割当て変更(29)
			共同教育	4通	1			3	4	2		1			兼1	
			機械工学実験 2	5前	2			1	1			1			兼1	
			伝熱工学	5後	2			1							兼1	
			自動制御	5後	2				1						兼1	
			卒業研究	5通	10			3	4			1			兼1	
小計 (33科目)		70														
選 択 科 目	機 械 コ ー ス		ものづくり工学	1通		3		1	1 2 1		1		兼24 兼25 兼8 兼23	他コースとの連携により配置を変更 (27) 他コースとの連携により配置を変更 (28) 他コースとの連携により配置を変更 (29)		
			デザイン基礎	1通		2		2			1		兼2 兼3 兼3	他コースとの連携により配置を変更 (27) 他コースとの連携により配置を変更 (28) 他コースとの連携により配置を変更 (29)		
			機械工学ゼミナール	4後 3前 3通 4前		1		3	4	2	1			兼2 兼3 兼3	教員負担平準化のため割当て変更(29)	
			3次元CAD	3前 3通 4前		1		1						兼2 兼3 兼3	科目間連携により配当年次を変更 (27) 科目間連携により配当年次を変更 (28)	
			メカトロニクス	4前		2				1				兼1		
			電磁気学	4後		2		1						兼1	講師変更(29)	
			流体力学	5前		2				1				兼1		
			塑性加工工学	5前		2						1		兼1		
材料選択の科学	5後		2		1						兼1					

	環境工学	5前	2		1						
	情報処理 2	5通	2			1					
	副専門	5前	2								
	副専門(最大2科目)	5後	4								
	小計 (13科目)		27								
	専門科目合計 (46科目)		70	27							

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
電 気 工 学 専 門 科 目	情報リテラシー	1通	2				1	1				兼1 兼2 兼4 教員の配置換のため講師変更(27) 教員の配置換のため講師変更(28)
	電気電子基礎	2通	1			1			2			教員の配置換のため講師変更(28)
	電気回路論1	2通	2			1						
	電気回路論2	3通	2						2	1		教員の配置換のため講師変更(28)
	電気回路論3	4前	2					1		1		教員負担平準化のため割当て変更(29)
	電気磁気学1	2通	2			1	1					教員の配置換のため講師変更(28)
	電気磁気学2	3通	2			1	1					教員の配置換のため講師変更(28)
	電気磁気学3	4前	2			1	1					教員負担平準化のため割当て変更(29)
	電子回路	4前 3後	2 1					1		1		科目間連携により配当年次と単位数の変更(27) 教員負担平準化のため割当て変更(29)
	電子工学	3後	1			1						
	電気電子材料	4前	2			1						
	半導体電子工学	4後	2			1				1		教員負担平準化のため割当て変更(29)
	半導体デバイス	5前	2			1						
	電気機器工学1	3後	1						1	1		兼1 教員の配置換のため講師変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(29)
	電気機器工学2	4前	2							1		
	パワーエレクトロニクス	5前	1			1				1		教員負担平準化のため割当て変更(29)
	発変電工学	4通	2									兼2 兼1 講師変更(29)
	送配電工学	5通	2							1		兼1 教員負担平準化のため割当て変更(29)
	電気計測	3通	2			1	1			1		教員の配置換のため講師変更(28)
	制御工学1	4後	2			1				1		教員負担平準化のため割当て変更(29)
	制御工学2	5前	2			1				1		教員負担平準化のため割当て変更(29)
	デジタル回路1	3前 2後	1				1	1				科目間連携により配当年次変更(27) 教員の配置換のため講師変更(28)
	デジタル回路2	3後 3前	1				1	1				科目間連携により配当年次変更(27) 教員の配置換のため講師変更(28)
	プログラミング実習	4前	1			1	1					教員負担平準化のため割当て変更(29)
	電気電子工学実験1	2通	3				1			3	1	教員の配置換のため講師変更(28)
	電気電子工学実験2	3通	3			2	1	2	1	2	1	教員の配置換のため講師変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(29)
	電気電子工学実験3	4通	3			2	1	2		3		教員負担平準化のため割当て変更(29)
	電気電子工学実験4	5通	3			1	1			3		教員負担平準化のため割当て変更(29)
	校外実習	4通	1				1			1		教員負担平準化のため割当て変更(29)
	共同教育	4通	1			3	2	1	1	4		教員負担平準化のため割当て変更(29)
電子回路設計製作実習	4通	2				1	1		1		教員負担平準化のため割当て変更(29)	
創造工学実習	5通	2			1				1			
確率統計	4前	2									兼1	
工業力学力学	4前	2			1						兼1 内容を変えずに学生にとってわかりやすい名称に修正(27) 教員負担平準化のため割当て変更(29)	
卒業研究	5通	10			3	2	1	4	4		教員負担平準化のため割当て変更(29)	
小計(35科目)		73										
	ものづくり工学	1通		3		3	2	1	1	4		兼18 兼21 兼8 他コースとの連携により配置を変更(27) 他コースとの連携により配置を変更(28)

選 択 科 目	デザイン基礎	1通	2						兼4 兼3	他コースとの連携により配置を変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(29) 科目間連携により単位数を変更(27) 教員負担平準化のため割当て変更(29) 科目間連携により配当年次を變更 科目間連携により単位数を変更(27) 他コースとの連携により配置を変更(27) 兼1 講師変更(29) 科目間連携により単位数を変更(27)
	電気電子製図	2前	1					1		
	電気電子工学総合演習	4通	1	3 4	2	1		4 1		
	電子回路論	4前	1 2		1			1		
	電磁波工学	4後	2			1				
	通信工学理論	5前	2			1				
	無線工学	4前 5前	2		1					
	熱力学	4後	2			1				
	副専門	5前	2 1			1				
	電気法規	5前	1			1				
	電波法規	5前	1 2		1					
	副専門(最大2科目)	5後	4							
	小計(13科目)			24						
専門科目合計(48科目)		73	24							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考							
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手								
専門科目	情報コース	必修科目	情報リテラシー	1通	2			1					兼2 兼4	教員の配置換のため講師変更(27)				
			プログラミング演習	2通、3通	4			1 2	2 1 3	1	1			兼2 兼4	教員の配置換のため講師変更(29) 教員の配置換のため講師変更(28)			
			データ構造とアルゴリズム	2通	2				2	1	1				兼2 兼4	教員負担平準化のための割当て変更(29) 教員の配置換のため講師変更(28)		
			電気電子工学基礎1	2後 2通	1 2			1	1 2						兼2 兼4	教員負担平準化のため割当て変更(28) 科目間連携により名称と配当年次、単位数の変更(27)		
			電気電子工学2	3前	1			1	1						兼2 兼4	教員負担平準化のため割当て変更(28) 科目間連携により名称と配当年次の変更(27)		
			デジタル回路基礎	2通	2			1	1 2	1					兼2 兼4	教員負担平準化のための割当て変更(29) 教員の配置換のため講師変更(28)		
			デジタル回路基礎実習	3前 3通	2				2						兼2 兼4	科目間連携により配当年次の変更(28)		
			情報数学	4前	2			1							兼2 兼4			
			応用プログラミング	4前	2				1						兼2 兼4			
			応用プログラミング実習	4後	2				1						兼2 兼4			
			校外実習	4通	1			1	1						兼2 兼4	教員負担平準化のための割当て変更(29)		
			確率統計	4前	2			1							兼2 兼4			
			工業力学力学	4前	2			1	1	1					兼2 兼4	教員負担平準化のための割当て変更(29) 内容を変えずに学生にとってわかりやすい名称に変更(27)		
			共同教育	4通	1			4	4 1	1	1				兼2 兼4	教員負担平準化のための割当て変更(29)		
			システム設計 1	4前	2			1 2	1						兼2 兼4	教員負担平準化のための割当て変更(29)		
			システム設計 2	4後	2			1 2	1						兼2 兼4	教員負担平準化のための割当て変更(29)		
			オペレーティングシステム	4前 4後	2			1							兼2 兼4	科目間連携により配当時期の変更(28)		
			情報通信ネットワーク	4前	2			1							兼2 兼4			
			計算機工学	4前	2			1							兼2 兼4			
			数値計算	4後	2			1							兼2 兼4			
			卒業研究	5通	10			4	4 5	1	1				兼2 兼4	教員負担平準化のための割当て変更(29)		
小計(21科目)		48																
専門科目	選択科目	選択科目	ものづくり工学	1通		3		2	4 3 4 1	1 1	1 1		兼22 兼20 兼8	教員配置換のため講師変更(29) 他コースとの連携により配置を変更(28) 他コースとの連携により配置を変更(27)				
			デザイン基礎	1通		2		1						兼3	他コースとの連携により配置を変更(27)			
			計算機基礎演習	2通		2			2	1	1				兼3	教員負担平準化のため割当て変更(27)		
			情報処理演習	3前		2		2										
			ソフトウェア設計	3後		2			1 2	1				兼1	教員の配置換のため講師変更(29) 教員の配置換のため講師変更(28)			
			組み込みシステム	3通		1		1	3 2 3						兼1	教員の配置換のため講師変更(29) 教員負担平準化のため割当て変更(28)		
			組み込みシステム実習	3通		3		1	3 2						兼1	教員の配置換のため講師変更(29) 教員負担平準化のため割当て変更(28)		
			文献講読	4通		2		4	4 5	1	1					兼1	教員負担平準化のための割当て変更(29)	
			デジタル信号処理	4後		2			1									
			創造工学ゼミナール	4通		2		4	4 5	1	1					兼1	教員負担平準化のための割当て変更(29)	
			デジタル回路1	4後 5前		2 4			1							兼1	科目間連携により名称と配当年次、単位数の変更(27)	
			デジタル回路2	5前		2			1							兼1	科目間連携により名称と配当年次、変更(27)	
			コンパイラ	5後		2			1	1						兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)	
			言語処理	5前		2			1	1		1				兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)	
			情報理論	4前 4後 5前		2					1	1				兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29) 科目間連携により配当年次の変更(27)	
			メディア情報処理	5前		2		1	1			1				兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)	
			組み込みシステム応用実習	5前		2		1	5			1				兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)	
			システム創造実習	5通		4		1	1 2							兼1	教員負担平準化のため割当て変更(29)	
			熱力学	4後		2		1									兼1	他コースとの連携により配置を変更(29)
			副専門	5前		2												
			離散数学	5後		2		1										
副専門(最大2科目)	5後		4															

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専 門 科 目	建設 コース	情報リテラシー	1通 2通	2				1				兼2 兼1	教員の配置換のため講師変更 (27)	
		測量学 1	2通	2			1							
		測量学 2	3通	2				1						
		測量実習 1	2通	2			1	1						
		測量実習 2	3通	2				2 1	1					教員の配置換のため講師変更 (28)
		材料学 1	4前 3前	1			1							科目間連携により配当年次を 変更(27)
		材料学 2	4後 4前	2			1							科目間連携により配当年次を 変更(27)
		構造材料実験	4後	1			1	1	1					教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		コンクリート構造学	5前	2			1							
		建設構造力学 1	3通	2			1							
		建設構造力学 2	4前	2			1	1						教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		建設構造力学 3	5前	1			1	1						教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		構造工学 1	4前	2			1							
		構造工学 2	4後	2			1							
		構造工学 3	5後	2			1	1						教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		構造設計製図 1	4後	1			2 1 1							教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		構造設計製図 2	5前	1			2 1							教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		水理学	3通	2				1						
		水工学	4前	2				1						
		水理実験	4後	1				2 1					兼1	担当教員の退職により、配置を 変更(H29)
		土質工学	3前	1			1							
		地盤工学	4通	2			1							
		土質実験	4前	1			1 2	1						教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		施工管理学	5前	2			1							
		都市計画	4前	2				1			1			教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		地域計画	4後	2				1						
		交通工学	5前	1				1						
		基礎製図	2前 2後	1			1	1						科目間連携により配当年次を 変更(27)
		環境学概論	2前 3後	1				1	1		1			科目間連携により配当年次を 変更(27) 担当教員の昇格により配置を変 更(29)
		環境工学 1	4後	2				1	1				兼1	教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		環境工学 2	5前	2				1	1				兼1	教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		環境実験	5前	1				1	1				兼1	教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		データ処理	3後 3前	1				1 2						科目間連携により配当年次を 変更(28) 教員の配置換のため講師変更 (28)
		プログラミング 1	3通	2				1						
		プログラミング 2	4前	1				1						
		確率統計	4前	2				1					兼1	
		工業力学力学	4前	2				1	1				兼1	内容を変えずに学生にとって わかりやすい名称に修正(27) 教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		校外実習	4通	1					1					
		共同教育	4通	1				4	4 3	1	1			教員負担平準化のため割当て変 更(29)
		卒業研究	5通	10				4	4 3	1	1			教員配置換のため割当て変 更(29)
小計 (40科目)			72											
		ものづくり工学	1通		3		1	1		1		兼25 兼26	他コースとの連携により配置を 変更(27) 教員負担平準化のため割当て変 更(29)	

選 択 科 目	デザイン基礎	1通	2	1	1	2	兼1 兼2	他コースとの連携により配置を 変更(27) 教員負担平準化のため割当て変 更(29)
	CAD製図	2前	1	1	1			
	建築製図	3前 3後 3前	1		1		1	科目間連携により配当年次を 変更(28) 教員の配置換のため講師変更 (28)
	建築設計製図 1	4通	2		1		1	兼1 教員負担平準化のため割当て変 更(29)
	建築設計製図 2	5通	2				1	兼1 教員負担平準化のため割当て変 更(29)
	建築計画	2通 3通	2				1	科目間連携により配当年次を 変更(27)
	建築環境工学	4後 4前	1				1	兼1 講師変更(29)
	建築設備	4前 4後	1				1	兼1 講師変更(29)
	電磁気学	4後	2	1				兼1
	副専門	5前	2					
	建築史	5後	1				1	
	建築法規	5後	1				1	
	副専門(最大2科目)	5後	4					
	小計(14科目)			25				
専門科目合計(54科目)		72	25					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	情報リテラシー	1通	2				4					兼2 教員の配置換のため講師変更(27) 内容を変えずに学生にとってわかりやすい名称に修正し、配置を変更(27) 科目間連携により配当年次と単位数を変更および教員負担平準化のため割当て変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(27) 科目間連携により配当年次と単位数を変更および教員負担平準化のため割当て変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(29) 科目間連携により配当年次を変更(29) 科目間連携により配当年次を変更(29) 有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、物理化学1、物理化学2に内容を含めたため(27) 有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、熱力学の内容を含めた科目を追加(27) 教員負担平準化のため割当て変更(29) 有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、熱力学の内容を含めた科目を追加(27) 有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、化学平衡論の内容を含めた科目を追加(27) 教員の配置換のため講師変更(28) 教員の配置換のため講師変更(28) 教員負担平準化のため割当て変更(29) 教員負担平準化のため割当て変更と科目間連携により配当年次を変更(29) 有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、物理化学3に内容を含めたため(27) 学生の理解を深めるため、配当年次と単位数を変更し、教員負担平準化のため割当て変更(27) 科目間連携により配当年次と単位数を変更(27) 教員の配置換のため講師変更(28) 有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、化学工学特論と化学結合論の内容を含めた科目を追加(27) 教員の配置換のため講師変更(29) 有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、化学工学2に内容を含めたため(27) 有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、化学工学2に内容を含めたため(27)
	確率統計	4前	2			1						
	有機合成化学実験	2後 2前	2			4	2 3 4	2	1 2			
	分析化学実験	2前 2後	2			1	1 2 4	2 4	2			
	物理化学実験	3前	2			1	3 4	1	1			
	化学工学実験	3後	2			1	2	1	4			
	生物実験	4後 4前	2						2			
	物質化学実験	4前 4後	2			1			1			
	熱力学	4前	2			4						
	物理化学1	4前	2			1	4					
	物理化学2	4後	2				1					
	物理化学3	5前	2				1					
	有機化学	3通	2			4		1	1			
	無機化学	3通	2			4		1	1			
	電気化学	4後 4前	2				1		4			
	分析化学	4前	2						1			
	化学平衡論	3後	4			4						
	化学工学基礎	2後 3通	1 2			4	1					
	化学工学1	3通 4通	2 4				1		4			
	化学工学2	4前	2				1		4			
化学工学特論	5前	2			4							
化学結合論	4後	2						4				
校外実習	4通	1			1							
共同教育	4通	1			1							

専 門 科 目	化 学 コ ー ス	環境基礎生物学	2後 2前	1			1		1		内容を変えずに学生にとって わかりやすい名称に変更(27) 内容を変えずに配当年次と単位 数の変更(28)	
		生化学	4前 2後	2 1			1		2		学生の理解を深めるため、配当 年次と単位数の変更(27) 教員負担平準化のため割当て変 更(29)	
		工業力学力学	4前	2			1			1	内容を変えずに学生にとって わかりやすい名称に変更(27) 教員負担平準化のため割当て変 更(29)	
		卒業研究	5通	10			4	3		2		
		小計(24科目)			52							
	選 択 科 目	化 学 コ ー ス	ものづくり工学	1通	3		1 1	1 2	2	1 2		兼21 兼22 他コースとの連携により配置を 変更(27) 他コースとの連携により配置を 変更(28)
			デザイン基礎	1通	2			1				兼3 他コースとの連携により配置を 変更(27)
			電磁気学基礎	2通	2			1				
			基礎プログラミング	4前 3通	2 2						1	
			電気電子回路	3通 3前	2			1				内容を変えずに配当年次の変更 (28)
			創造ゼミナール	4後 4通	2		2 4	5 3	2	2		内容を変えずに配当年次の変更 と教員の配置換のため講師変更 (29)
			無機材料学	5前 4前	2		1	1				内容を変えずに配当年次の変更 (27) 教員負担平準化のため割当て変 更(29)
			有機材料学	4前	2						1	
			反応工学化学工学3	4後	2					1	1	有識者とのさらなる検討を行 い、学生の理解を深めるため、 触媒化学の内容を含めた名称に 変更(27) 教員の配置換のため講師変更 (29)
			量子化学	5前	2		1					
			高分子機能材料学	5前	2				1		1	教員の配置換のため講師変更 (29)
			触媒化学	5前	2						1	学生の理解を深めるため、触媒 化学の内容を化学工学3に取り 込んだため(27)
			無機化学演習	4後 4前	1						1	有識者とのさらなる検討を行 い、学生の理解を深めるため、 演習科目を追加(27) 内容を変えずに配当年次の変更 (29)
			有機化学演習	4後	1						1	有識者とのさらなる検討を行 い、学生の理解を深めるため、 演習科目を追加(27)
			化学工学演習	5前	1			1			1	有識者とのさらなる検討を行 い、学生の理解を深めるため、 演習科目を追加(27) 教員の配置換のため講師変更 (29)
			物理化学演習	5前	1			1			1	有識者とのさらなる検討を行 い、学生の理解を深めるため、 演習科目を追加(27) 教員の配置換のため講師変更 (29)
			半導体工学	5前	2				1			
			環境化科学概論	3後	1				1		1	内容を変えずに学生にとって わかりやすい名称に変更(27) 教員の配置換のため講師変更 (28)
			環境倫理工学1	4前	2						1	内容を変えずに学生にとって わかりやすい名称に変更(27)
環境工学2	5後 5前 4後	2			1				科目間連携により配当年次 の変更(27) 科目間連携により配当年次 の変更(29)			
安全工学	2前 2後 4後	1 2			1				内容を変えずに配当年次と単位 数の変更(27) 内容を変えずに配当年次と単位 数の変更(28)			
固体物理	5後	2			1	1			教員負担平準化のため割当て変 更(29)			
電磁気学	4後	2			1							
副専門	5前	2										
副専門(最大2科目)	5後	4										

	24 小計 (24科目)		45								
	48 専門科目合計 (45科目)	52	45								

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
180	98	0	278	181	100	0	281	
				[1]	[2]	[]	[]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	熱力学	2	4前	専門	必修	有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、物理化学1、物理化学2に内容を含めたため
2	化学平衡論	1	3後	専門	必修	有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、物理化学3に内容を含めたため
3	化学工学特論	2	5前	専門	必修	有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、化学工学2に内容を含めたため
4	化学結合論	2	4後	専門	必修	有識者とのさらなる検討を行い、学生の理解を深めるため、化学工学2に内容を含めたため
5	触媒化学	2	5前	専門	必修	学生の理解を深めるため、化学工学3に触媒化学の内容を含めたため
6	英語の語彙・文法(1)	1	4前	一般	選択	学生の理解を深めるため、前期・後期と分けていた科目を通年科目の「英語の語彙・文法」に内容を含めたため
7	英語の語彙・文法(2)	1	4後	一般	選択	学生の理解を深めるため、前期・後期と分けていた科目を通年科目の「英語の語彙・文法」に内容を含めたため

- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「高専の所見」及び「学生への周知方法」

学生への理解を深めるため、有識者との検討を行い、廃止科目の内容を変えずに新しい科目へ含めたため、学生への影響はない。
 なお、高専生活のてびきに最新の教育課程（授業科目）を掲載し、配付している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の率

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{278} = \boxed{2.51} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	43,268㎡	㎡	㎡	43,268㎡			
	運動場用地	49,940㎡	㎡	㎡	49,940㎡			
	小 計	93,208㎡	㎡	㎡	93,208㎡			
	そ の 他	18,347㎡	㎡	㎡	18,347㎡			
	合 計	111,555㎡	㎡	㎡	111,555㎡			
(2) 校舎	専 用	14,787㎡	㎡	㎡	14,787㎡			
	()	(14,787㎡)	()	()	(14,787㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	26室	3室	43室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	創造技術工学科			65 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点
	創造技術工学科	82,753 [8,227] (78,619 [9,548])	706 [263] (589 [265])	4 [2] (2 [1])	726 (686)	31 (65)	0 (0)	
		計	82,753 [8,227] (78,619 [9,548])	706 [263] (589 [265])	4 [2] (2 [1])	726 (686)	31 (65)	0 (0)
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		学校全体	
	1,655㎡		98		79,380			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				学校全体	
	2,477㎡		武 道 場 プ ー ル 等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設高専の状況

高専の名称	阿南高専								備考
既設学科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
創造技術工学科	5	160	—	800	準学士 (工学)	1	平成26年度	徳島県阿南市見能林町青木265	
機械工学科	5	—	—	—	準学士 (工学)	—	昭和38年		平成26年度学生募集停止
電気電子工学科	5	—	—	—	準学士 (工学)	—	平成14年		平成26年度学生募集停止
制御情報工学科	5	—	—	—	準学士 (工学)	—	平成元年		平成26年度学生募集停止
建設システム工学科	5	—	—	—	準学士 (工学)	—	平成5年		平成26年度学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学科, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学科等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学科等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学科等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<△△学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	坪井 泰士 (51)	平成26年4月	日本語総合 日本語の表現						
専	教授	林田 栄治 (58)	平成26年4月	英語1 英語A 英語2 英語B 英語3 英語総合1 英語総合2 英語の語彙・文法						
専	教授	錦織 浩文 (50)	平成26年4月	日本語総合 日本語の表現						
専	教授	勝藤 和子 (54)	平成26年4月	英語1 英語A 英語2 英語B 英語3 英語総合1 英語総合2 英語の語彙・文法						
専	教授	藤居 岳人 (48)	平成26年4月	倫理 哲学						
専	教授	川崎 敏和 (58)	平成26年4月	基礎数学1 数学A 基礎数学2 数学B 微分積分 数学C						
専	准教授	榎田 雅弘 (54)	平成26年4月	基礎数学1 数学A 基礎数学2 数学B 微分積分 数学C						
専	准教授	今田 浩之 (51)	平成26年4月	政治経済 法学						
専	教授	田上 隆徳 (45)	平成26年4月	基礎数学1 数学A 基礎数学2 数学B 微分積分 数学C						
専	准教授	谷中 俊裕 (47)	平成26年4月	英語1 英語A 英語2 英語B 英語3 英語総合1 英語総合2 英語の語彙・文法 第二外国語入門(ロシア語)						
専	准教授	新井 修 (41)	平成26年4月	体育						
専	准教授	藤井 浩美 (38)	平成26年4月	英語1 英語A 英語2 英語B 英語3 英語総合1 英語総合2 英語の語彙・文法						

					兼任		宮本 陽生 (66)	平成28年4月	数学C	平成28年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	教授	多田 博夫 (55)	平成26年4月	デザイン基礎 機械設計製図1 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール 3次元CAD						
専	教授	西野 精一 (54)	平成26年4月	機械工学実験1 機械工学実験2 材料力学1 材料力学2 材料力学3 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール						
専	教授	原野 智哉 (47)	平成26年4月	機械工学実験1 機械工学実験2 材料力学1 材料力学2 材料力学3 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール	専	准教授	川畑 成之 (41)	平成28年4月	機械要素設計	平成28年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	講師	伊丹 伸 (53)	平成29年4月	機械設計製図2	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	准教授	大北 裕司 (43)	平成26年4月	機械設計製図3 機械工学実験1 水力学1 水力学2 校外実習 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール 流体力学						
専	准教授	川畑 成之 (38)	平成26年4月	機械工作実習1 機構学 機械力学1 機械力学2 自動制御 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール	専	准教授	西本 浩司 (42)	平成29年4月	機械工作実習1	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	教授	原野 智哉 (47)	平成26年4月	機械工学実験1 機械工学実験2 材料力学1 材料力学2 材料力学3 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール	専	講師	伊丹 伸 (53)	平成29年4月	機械工作実習2	平成28年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	准教授	松浦 史法 (40)	平成29年4月	機械工学実験1	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	講師	安田 武司 (34)	平成29年4月	機械工作法1 機械工作法2	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	准教授	松浦 史法 (37)	平成26年4月	機械工学実験2 情報処理1 計測工学 共同教育 卒業研究 ものづくり工学 メカトロニクス 情報処理2	専	講師	伊丹 伸 (53)	平成29年4月	計測工学	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	准教授	西本 浩司 (42)	平成29年4月	ものづくり工学	平成28年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	講師	伊丹 伸 (53)	平成26年4月	機械工学実験1 機械設計製図2 機械工作実習2 機械工学ゼミナール 計測工学 共同教育 卒業研究						

専	助教	安田 武司 (30)	平成26年4月	機械工作実習1 機械工作実習2 機械工学実験2 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール 塑性加工工学					平成28年4月 講師昇任	
					専	教授	原野 智哉 (50)	平成29年4月	機械工作実習1	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	助教	中岡 信司 (60)	平成29年4月	機械製図 機械工作実習1 機械工作実習2 機械設計製図1 機械設計製図2 機械設計製図3 共同教育 ものづくり工学 デザイン基礎 機械工学ゼミナール	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	教授	中村厚信 (52)	平成26年4月	ものづくり工学 電気電子基礎 電気電子材料 電気電子工学実験 3 電気電子工学総合 演習 半導体デバイス 卒業研究	専	助教	香西 貴典 (29)	平成28年4月	電気電子基礎	平成28年4月 教員の配置換のため 講師変更
					専	助教	原野 智哉 (50)			
専	准教授	中村 雄一 (45)	平成26年4月	電気回路論1 電子回路 電子回路論 プログラミング 実習 電気電子工学 総合演習 電気電子工学 実験4 創造工学実習 卒業研究	専	助教	藤原 健志 (30)	平成29年4月	電子回路	平成27年4月教授昇任 平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	助教	生田 智敬 (30)	平成29年4月	電子回路論	
					専	准教授	小松 実 (42)	平成29年4月	プログラミング 実習	
専	教授	松本 高志 (48)	平成26年4月	ものづくり工学 電気計測 電気磁気学3 電気電子工学実験 3 電気電子工学総合 演習 無線工学 電波法規 卒業研究						
専	准教授	長谷川 竜生 (44)	平成26年4月	電気磁気学2 電気電子工学 実験2 半導体電子工学 電子回路設計 製作実習 電気電子工学 総合演習 卒業研究	専	教授	中村 厚信 (55)	平成29年4月	電気電子工学実験2	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	講師	小林 美緒 (38)	平成29年4月	電気電子工学実験2	
					専	助教	香西 貴典 (29)	平成29年4月	電気電子工学実験2	
					専	助教	藤原 健志 (30)	平成29年4月	半導体電子工学	
専	准教授	小松 実 (39)	平成26年4月	電気磁気学1 デジタル回路1 デジタル回路2 電気電子工学実験 2 電磁波工学 電気電子工学総合 演習 電気電子工学実験 4 卒業研究	専	講師	小林 美緒 (38)	平成28年4月	デジタル回路1 デジタル回路2	平成28年4月 教員の配置換のため 講師変更
					専	教授	中村 雄一 (49)	平成29年4月	電気電子工学実験2	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更

専	准教授	上原 信知 (37)	平成26年4月	情報リテラシー 電気電子工学実験 1 電子工学 電気回路論 3 電気電子工学実験 3 電気電子工学総合演習 校外実習 (4 E 担任) 共同教育 (4 E 担任) 通信工学理論 卒業研究						平成27年4月 機構本部へ配置換
専	講師	小林 美緒 (38)	平成26年4月	情報リテラシー デジタル回路1 デジタル回路2 電気電子工学実験2 共同教育 電子回路設計製作実習 卒業研究 ものづくり工学 電気電子工学総合演習						
専	電気A	電気A	平成26年4月	電気電子工学実験 1 電気機器工学1 電気機器工学2 制御工学1 電気電子工学総合 演習 制御工学2 創造工学実習 卒業研究	専	助教	生田 智敬 (30)	平成28年4月	電気電子工学実験 1	平成28年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	助教	西尾 峰之 (34)	平成29年4月	電気機器工学1 電気機器工学2 電気電子工学総合演習 創造工学実習 卒業研究	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	教授	中村 雄一 (49)	平成29年4月	制御工学1 制御工学2	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	電気B	電気B	平成26年4月	電気電子製図 電気回路論2 電気電子工学実験 2 電子回路設計製作 実習 電気電子工学総合 演習 パワーエレクトロ ニクス 卒業研究	専	助教	西尾 峰之 (34)	平成29年4月	電気電子製図	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	教授	中村 厚信 (55)	平成29年4月	電子回路設計製作実習 パワーエレクトロニクス	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	助教	香西 貴典 (29)	平成29年4月	電気回路論2 電気電子工学実験2 電気電子工学総合演習 卒業研究	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
兼任		電気非常勤A	平成26年4月	発変電工学						
兼任		電気非常勤B	平成26年4月	送配電工学						
兼任		電気非常勤C	平成26年4月	電気法規						
専	教授	岩佐 健司 (57)	平成26年4月	情報処理演習 オペレーティングシス テム 計算機工学 情報通信ネットワーク 文献講読 創造工学ゼミナール 卒業研究						
専	教授	田中 達治 (54)	平成26年4月	プログラミング演習 電気電子工学基礎 情報処理演習 メディア情報処理 システム設計1 システム設計2 文献講読 創造工学ゼミナール 卒業研究						
専	教授	杉野 隆三郎 (51)	平成26年4月	情報数学 確率統計 数値計算 離散数学 文献講読 創造工学ゼミナール 卒業研究						

専	准教授	福田 耕治 (50)	平成26年4月	デジタル回路基礎 組み込みシステム 組み込みシステム実習 組み込みシステム応用 実習 システム創造実習 文献講読 創造工学ゼミナール 卒業研究						平成27年4月 教授昇任
					専	講師	平山 基 (37)	平成29年4月	デジタル回路基礎	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	准教授	岡本 浩行 (44)	平成26年4月	プログラミング演習 ソフトウェア設計 応用プログラミング 応用プログラミング実 習 組み込みシステム応用 実習 文献講読 創造工学ゼミナール 卒業研究	専	准教授	福田 耕治 (50)	平成29年4月	組み込みシステム応用実習	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	准教授	安野 恵実子 (41)	平成26年4月	電気電子工学基礎 デジタル回路基礎 デジタル回路基礎実 習 組み込みシステム 組み込みシステム実習 組み込みシステム応用 実習 文献講読 創造工学ゼミナール 卒業研究	専	准教授	福田 耕治 (50)	平成29年4月	組み込みシステム応用実習	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	准教授	福田 耕治 (50)	平成29年4月	組み込みシステム応用実習	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	准教授	吉田 晋 (51)	平成26年4月	プログラミング演習 校外実習 システム設計1 システム設計2 組み込みシステム応用 実習 文献講読 創造工学ゼミナール 卒業研究	専	教授	杉野 隆三郎 (54)	平成29年4月	校外実習	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
					専	准教授	福見 淳二 (46)	平成29年4月	校外実習	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	助教	一ノ瀬 元喜 (33)	平成26年4月	プログラミング演習 データ構造とアルゴリズム 計算機基礎演習 ソフトウェア設計 言語処理 コンパイラ 組み込みシステム応用実 習 文献講読 創造工学ゼミナール 卒業研究						平成28年1月 辞職
					専	講師	平山 基 (37)	平成28年4月	プログラミング演 習 工業力学 卒業研究 ものづくり工学 計算機基礎演習 文献講読 創造工学ゼミナール コンパイラ 情報理論	平成28年4月 一般教養から配置換
専	助教	太田 健吾 (32)	平成26年4月	プログラミング演習 データ構造とアルゴリズム ものづくり工学 計算機基礎演習 文献講読 創造工学ゼミナール 言語処理 メディア情報処理 卒業研究						

専	教授	堀井 克章 (55)	平成26年4月	測量学1 測量実習1 材料学1 材料学2 構造材料実験 コンクリート構造学 共同研究 卒業研究						
専	教授	笹田 修司 (55)	平成26年4月	建設構造力学1 構造設計製図1 構造設計製図2 プログラミング1 プログラミング2 CAD製図 共同研究 卒業研究	専	教授	松保 重之 (56)	平成29年4月	構造設計製図1 構造設計製図2	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	教授	松保 重之 (56)	平成26年4月	構造工学1 構造工学2 構造工学3 構造設計製図1 構造設計製図2 データ処理 共同研究 卒業研究						
専	教授	吉村 洋 (48)	平成26年4月	土質工学 地盤工学 土質実験 施工管理学 共同研究 卒業研究						
専	准教授	森山 卓郎 (45)	平成26年4月	建設構造力学2 建設構造力学3 郊外実習 デザイン基礎 共同研究 卒業研究						
専	准教授	加藤 研二 (40)	平成26年4月	測量学2 測量実習2 都市計画 交通工学 建築製図 建築設計製図1 共同研究 卒業研究	専	助教	池添 純子 (37)	平成29年4月	建築設計製図1	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	准教授	長田 健吾 (35)	平成26年4月	測量実習1 水理学 水工学 水理実験 土質実験 CAD製図 共同研究 卒業研究						
専	助教	池添 純子 (34)	平成26年4月	都市計画 建築設計製図2 建築計画 建築環境工学 建築設備 建築史 建築法規 共同研究 卒業研究	兼任	講師	島津 臣志 (37)	平成29年4月	建築環境工学	平成29年4月 講師変更
					兼任	講師	上久保 哲治 (54)	平成29年4月	建築設備	平成29年4月 講師変更
専	助教	川上 周司 (31)	平成26年4月	測量実習2 構造材料実験 水理実験 環境学概論 環境工学1 環境工学2 環境実験 共同研究 卒業研究						平成28年4月 講師昇任
					兼任	講師	長田 健吾 (38)	平成29年4月	水理実験	平成29年4月 担当教員の退職により 配置を変更

専	教授	西岡 守 (56)	平成26年4月	材料工学実験 熱力学 化学工学演習 卒業研究 創造ゼミナール 環境工学 安全工学						物理化学実験 化学工学実験 物理化学実験 校外実習 ものづくり工学 卒業研究 創造ゼミナール 環境工学2 安全工学	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
				熱力学1 熱力学2 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール 伝熱工学 環境工学							
専	教授	吉田 岳人 (54)	平成26年4月	分析化学実験 卒業研究 創造ゼミナール 量子化学 固体物理 電磁気学						分析化学実験 物理化学1 創造ゼミナール 量子化学 固体物理 電磁気学	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
				電気力学 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール							
専	准教授	一森 勇人 (55)	平成26年4月	有機合成実験 有機化学 化学平衡論 生化学 卒業研究 ものづくり工学 創造ゼミナール						物理化学実験 化学工学実験 生物実験 生化学 創造ゼミナール	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	准教授	奥本 良博 (45)	平成26年4月	物質化学実験 無機化学 化学工学基礎 校外実習 共同教育 卒業研究 創造ゼミナール 無機材料学						物理化学実験 化学工学実験 化学工学基礎 化学工学1 化学工学2 校外実習 創造ゼミナール	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
				機械工学実験2 機械材料1 機械材料2 共同教育 卒業研究 機械工学ゼミナール 材料選択の科学							
専	准教授	大田 直友 (42)	平成26年4月	生物実験 基礎生物学 卒業研究 創造ゼミナール 環境化学概論 環境倫理						有機化学実験 分析化学実験 生物実験 環境生物学 生化学 創造ゼミナール 環境化学概論	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
専	准教授	釜野 勝 (38)	平成26年4月	情報リテラシー 卒業研究 電磁気学基礎 電気電子回路 創造ゼミナール 半導体工学						有機化学実験 物理化学実験 電気化学 ものづくり工学 電磁気学基礎 電気電子回路 創造ゼミナール 半導体工学	平成29年4月 教員負担平準化のため 割当て変更
										分析化学実験 創造ゼミナール	平成29年4月 採用
					専	准教授	小西 智也 (44)	平成29年4月			

兼任	化学A	平成26年4月	有機合成実験 確率統計 卒業研究 創造ゼミナール	専	講師	大谷 卓 (43)	平成29年4月	有機化学実験 分析化学実験 有機化学 ものづくり工学 確率統計 創造ゼミナール	平成28年4月 採用
兼任	化学B	平成26年4月	分析化学実験 卒業研究 デザイン基礎 創造ゼミナール	専	講師	鄭 涛 (40)	平成29年4月	分析化学実験 物理化学実験 化学工学実験 無機化学 ものづくり工学 創造ゼミナール 化学工学3 卒業研究 デザイン基礎	平成27年4月 採用
兼任	化学C	平成26年4月	物理化学実験 卒業研究 創造ゼミナール 触媒化学	専	助教	杉山 雄樹 (32)	平成29年4月	有機化学実験 分析化学実験 有機化学 ものづくり工学 創造ゼミナール 有機材料学 有機化学演習	平成27年4月 採用
兼任	化学D	平成26年4月	材料工学実験 化学工学 卒業研究 創造ゼミナール 有機材料学 反応工学	専	助教	小曾根 崇 (35)	平成29年4月	有機化学実験 分析化学実験 物理化学実験 無機化学 工業力学 ものづくり工学 創造ゼミナール 無機化学演習 触媒化学	平成28年4月 採用
兼任	化学E	平成26年4月	生物実験 化学結合論 卒業研究 基礎プログラミング 創造ゼミナール 高分子機能材料学			後任未定			他の担当教員で対応するため支障 はない
兼任	化学F	平成26年4月	材料化学実験 電気化学 分析化学 卒業研究 創造ゼミナール			後任未定			他の担当教員で対応するため支障 はない

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学科等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
54 名	

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
29	28	2	6	65	23	26	9	11	69	29	28	2	6	65
(24)	(26)	(4)	(10)	(64)						[]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
63 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学科における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし							
合計（A）					後任補充状況の集計（B）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計（C）					後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
該当なし	人	必修	〇〇 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	〇〇 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	〇〇 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	〇〇 科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A） + （C）		後任補充状況の集計（B） + （D）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創造技術工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 167単位 必修科目377単位, 選択科目193単位 ② 施設・設備 a 機械・器具 31	① 学生の理解を深めるため, カリキュラム変更に伴う科目を新設し, 必修科目(1科目・2単位)を追加 ② 学生の修学環境を改善するため, 機械・器具を34件増設した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD委員会、教育開発推進室 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) FD委員会は隔月程度開催、教育開発推進室は毎月開催している。 c 委員会の審議事項等 FD委員会はFDに係わる事項の企画・実施について、教育開発推進室は大学教育再生加速プログラムの遂行に関する事項を審議する。 ② 実施状況 a 実施内容 ・ 授業方法等の研修会 (夏季教員研修会、冬季教員研修会、SPOD講師派遣事業、アクティブ・ラーニング研究会) ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ、アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ ・ LMS活用セミナー ・ カリキュラム外部評価 ・ 教学IR調査 (新入生アンケート、学生生活実態調査、卒業時アンケート) b 実施方法 ・ 授業方法等の研修会 (基調講演とワークショップをセットで実施) ・ 教員相互の授業参観 (H28までは年に2回各教員が選んだ授業を参観し、記録提出。H29からは研究授業形式) ・ 新任教員のための研修会 (管理職によるレクチャー。H29からは授業研、生活指導、危機管理、研究・地域連携研修等体系的に実施予定) ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ、アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ (2日間のワークショップ形式) ・ LMS活用セミナー (外部講師によりLMSの利活用を演習する)

- ・ カリキュラム外部評価（毎年、一般教養2教科、各コース1教科のシラバス、テスト等を外部有識者に評価を受ける）
 - ・ 教学IR調査（LMSを活用して各種学生データを収集し、教育改善に活用する）
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
- ・ 教員研修会は年2回、毎回教員の9割以上参加。SPOD講師派遣事業は年1回、20名程度、アクティブ・ラーニング
 - ・ 教員相互の授業参観（H28までは年に2回、記録提出は半数程度）
 - ・ 新任教員のための研修会（新任教員は全員参加）
 - ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ、アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ年に1回
 - ・ LMS活用セミナー（年に1～2回、10名程度）
 - ・ カリキュラム外部評価（毎年、一般教養2教科（2名対象）、各コース1教科（1名対象））
 - ・ 教学IR調査（毎年実施）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

アクティブ・ラーニング型授業やICT活用教育を推進してきた結果、平成28年度9月現在で教員の72%がLMSを活用しており、授業では開講科目のうち43%の科目でLMSが利用されている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施あり

前期末試験返却後に実施している。一部、後期中間試験あるいは期末試験後に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

匿名の結果を各コースのFD委員がチェックした後、各教員へ返却している。各教員は改善点等を学生にフィードバックする。

また、改善点等を次年度に向けてドキュメント化し提出している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成26年度に従来の4学科を再編し、1学科5コース制として始まった創造技術工学科は4年目を迎えたところである。まだ卒業生を送り出すには至っていないが、現在のところ次の通り、設置の趣旨・目的に沿ってほぼ順調に進捗している。

(1) 複合・融合型技術者の育成について

複合・融合型技術者の育成、さらに国際化対応能力や情報処理能力の向上を目的に組まれたカリキュラムは、4年目に4科目の見直しを行った（平成29年度入学生から適用）が、その他は当初の計画の通り実施されている。π型技術者養成のための副専門の授業は、今年度後期から開始される。

(2) 化学コースの新設について

地域からの強い要望により新設された化学コースの教育研究環境の整備は、予定通り進んでいる。化学実験室1, 2, 3に加え、昨年度末には創立50周年記念寄付金による材料工学棟も竣工した。これは化学コースの教育研究に利用するとともに、導入した様々な機器・分析装置を地域企業へ開放することにより、産学連携による実践的創造教育を実施していく。

(3) 専攻科の再編について

本科の再編に続き、専攻科の再編を行うことで組織全体の高度化を図っている。専攻科も本科と同様な副専門制を導入し、本科の教育課程に合わせた1専攻4コース制（創造技術システム専攻の下に、機械システムコース、電気電子情報コース、建設システムコース、応用化学コース）とする改組案を作成した。

現在、平成31年度からの開始を前提に準備を進めている。

一方、今後の課題としては、学生の確保が挙げられる。中学校における志願調整や少子化等の影響から、志願倍率は1.3倍前後で推移している。ものづくりの関心と適性を有する中学生をより多数受け入れ、入学者の学力水準維持向上するため、学校広報専属部署を中核として、多角的かつ丁寧な広報活動を継続している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・第3期中期計画終了後（平成32年2月公表予定）

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、高専ホームページ上に公開予定（平成32年2月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成30年度に高等専門学校機関別認証評価（大学評価・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 1月19日)